

No.	発言内容	回答者	回答内容
■上下水道料金改定案についての意見交換			
1	説明の中にあったコーラブル預金とは何ですか。	上下水道係	コーラブル預金は、大口の定期預金で、10年や20年といった長期のスパンで組むものになります。若干縛りがありまして、具体的には1億円以上でないと定期が組めないということや、途中で解約できないといった条件があります。ただその一方で、1%前後と非常に利率が高く、預金を一部運用することによって、営業外収益として利息をより多く確保しているというものになります。
		町長	この2～3年でだいぶ方針を変えまして、今までこういったものは利率が非常に低く、やはりすぐには現金化できないのであまりやってこなかったところなんです。ただ、一定程度財政上の見通しがたつ範囲であれば、なるべく積極的に運用し、これだけ利率も高くなってきているので、できるだけ収入にしていこうと少しずつ取り組みを行ってきています。
2	上げる時期になっているという気はします。ただ、令和6年の4月から公営化がスタートしていると思いますが、その間に30年間の実績があるわけですね。その実績の中で、基金や借り入れといったものはどれくらいあるのでしょうか。	上下水道係	令和6年度は下水道事業が公営企業会計に移行した年で、水道事業はそれよりもずっと前から公営企業会計に移行しています。預金については、建設改良積立金という施設整備のために使える積立金と、減債積立金といって借金の返済に充てる積立金に分かれています。これが水道事業の場合、建設改良積立金が大体7億円で、減債積立金が5,000万円になります。それに対する借金の残高は7億5,350万円になります。下水道事業の方ですが、令和6年度から公営企業会計へ移行し、そこで出た利益を積立金に積み立てております。まだ1回しか決算を経ていないのですが、令和6年度に約5,300万円の利益が出ており、全額減債積立金に積み立てております。また、借金の残高は令和6年度末において約13億3,800万円という状況です。
3	パブリックコメントを読ませていただいたのですが、値上げをすることに対して、肯定的な意見とやめてくれという意見の2パターンがあったと思います。ただ、水道に対する理解がどの程度あり、どういう意見につながっているかということや、もう少し掘り下げた方がいいのではないかと思います。 水はタダではできません。タダで水が欲しければ、それこそ発展途上国みたいに毎日に濁った水が出てくる状態になるわけで、日本のようにいつ蛇口をひねってもきれいな水が出てくるというのは非常にお金がかかるし、エネルギーもかかります。それを理解した上で料金に押し向けるのであればいいのですが、何となく大変、というのではやはり分らないと思います。でするので、例えば管路工事の説明会や、浄水場で水を作るところを実験でやって見せたらいいと思います。	上下水道係	今回この資料を作成する中で、これまで30年以上料金改定をしてこなかったという状況もあり、本当に大切な部分について我々もお伝えできていなかったと感じています。そういったベースとなる部分もしっかり説明し、ご理解をいただいた上で料金改定に向かうべきということは、検討会と審議会の3年間に強く感じた部分です。そのため、今いただいたご意見がある種教訓にしながら、またこれからしっかり検討していきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。貴重なご意見ありがとうございます。
■地域の課題			
1	自治会役員のなり手不足について 特に中小の自治会で役員のなり手が不足しており、困っているからぜひ助けてくれということで、町長はじめ総務課長にもお願いしたのですが、まずアンケートを取って把握してから対応だと言っているのですが、進捗状況を教えてください。 小さい中子塚もそうですし、清水もそうですが、切羽詰まって役員を2回ずつやっています。喫緊の課題だと思うのに、悠長なことをしていると潰れてしまいます。しっかり考えてもらって見捨てないでほしいなと思います。風が通り過ぎるのを待っているだけだったら、人口減少がひどくなって小布施だってそのうちおかしくなってきます。こんな小さいところでも助けるんだという姿勢を示してほしいので、具体的に方策を考えてほしいです。 また次の町政懇談会で進捗状況を聞きますので、ぜひともお願いします。	総務課長	アンケートについては、昨年の自治会長さんにアンケートを取らせていただいて、そこまで多くの意見は出なかったのですが、時間がかかってしまい、大変恐縮ながら、6月の自治会長会議の中でまとめたものを今の自治会長さんに共有させていただいたところなんです。 町としてはすぐに大きなことはできないので、まずできることから始めようということで、役場の中の全課に関わることで、そういった課題を認識させていただいて、できることからスモールスタートといいますが、そこから徐々に大きな形に持っていければいいなと思っているところで、今年度の上半期を目処に、町としての方向性を出せればというのが今の状況です。
		町長	補足ですが、より実務的にはできることから始めていこうということで、非常に本質的な議論もしてはいるのですが、今求めているのはコミュニティの在り方や、役員全体の数、活動量、もっと踏み込んで言えば、そこに対しての金銭的な部分も含めての大きな構造の話だと思います。非常に時間がかかることでもありますので、それこそ今回水道も3年かかっていますけれども、もともと何十年も積み重ねてきた仕組みを常に変えていくというのは非常に難しい部分もあります。 まずは取り組めることからということで、例えば本当に些細なことですが、町民運動会の日時を変えさせてもらうとか。とはいえ、自治会の方からずっと声が上がっていた連休の真ん中はやめてほしいという声も、日付を変えることでやっというとか、今水面下で議論しているところという、例えば回覧板が非常に負担であるという声が多い中で、電子回覧板のような仕組みを導入できないかということで、そういうものを実際に導入している自治体もありますので、研究調査を進めています。こういうものと同時並行でどうことができるのか、いつまでも議論だけしているつもりはありませんので、お示しをしていきたいと思っています。

No.	発言内容	回答者	回答内容
2	自治会長会議の内容について 前回自治会長会議で議会を傍聴した後、議員さんと懇談したわけですが、その時本来ですと自治会の問題を答弁する機会があるのかと思っていたのですが、実際出された議題が定数削減でした。自治会長の立場で意見を言うべきでない問題を自治会長会議に出してきて、議員さんは何を考えてるんだと思いました。 本来ですと自治会長会議は自治会の個々の問題を話す場であると思うのですが、それがいきなり定数削減について自治会長の立場で言えるわけではないと思うのですが、発言を求められたことに対して、全自治会長さんが困っていたということをここで言っておきたいです。 もう一つ、議会を傍聴してまして、普通議員さんの質問というのは、10年・20年先を見据えた質問をなされると私は思ってたのですが、ある議員さんから焼き栗を小布施町でしたらどうかという質問が出まして。議員さんから出る質問かなと思いました。普通は商工会とか観光課で出る問題なのを議員さんが、しかもそれを取り上げている議会もいかがなものかなとふと思って。それが小布施町議会なのかなということを感じてしまって。町長さんはあの時いらっしゃらなかったもので、一言伝えておいたほうがいいのかないと思いました。	町長	たしかに自治会長会議でのテーマとしてはそぐわないというところはあるかもしれませんが。そういったご意見があったということは議長にも共有させていただきたいと思います。
		議会事務局	【担当課 後日回答】 本来であれば、自治会のお困りごとなどをお聞きする会議であるべきところを議員定数についてご意見をお聞きしたことお詫び申し上げます。 今後は、自治会連合会長さん、事務局の総務課へ事前相談のうえ、懇談会を開催させていただきたいと考えております。 また、議会の一般質問の内容につきましては、各議員の考えになりますので、そういうご意見があったことを議会で共有させていただきます。 今後とも、町議会へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。
3	道の駅オアシスおぶせの建て替えについて 道の駅オアシスおぶせの建て替えの情報が入ったのですが、移転先と書かれているのが大きな駐車場で、ここがなくなると県内・県外から小布施に來ている人たちが使えるところが減ってしまうので、どのように考えているのか説明いただければありがたいです。	建設水道課長	ハイウェイオアシスもできてから25年から30年経って老朽化で建て替えが余儀なくされている中で、当初は同じ場所に建て替える計画もあったのですが、建て替えに2年間かからず、令和9年度には善光寺の御開帳も控えているということで、町内の事業者から2年間ハイウェイオアシスが停止してしまうと売上にかなり影響が出てしまうという意見がありました。場所については町、長野電鉄、ハイウェイオアシスが協議した中で、道を挟んだ向かいに舗装されている駐車場があるのですが、そちらへ移転して、なおかつ今の現況を最低限維持してお土産だけは売ってこういう計画になりました。 今後につきましては、駐車場が当然減ることになりますので、今のハイウェイオアシスの場所を駐車場という形で計画しつつ、南側に借りていて今臨時的な駐車場として使っている砂利の駐車場も今後視野に入れて、あと当然ETCから出たときの動線も変わりますので、その辺も研究しながら進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。
4	給水車について つい最近の停電で町内の水道水が濁りました。今回は範囲が狭くて良かったのですが、災害のときには給水車1台で戸一戸給水していて間に合うのかという不安もありました。2台くらい置いて給水することはできないのか、検討していただきたいと思います。	上下水道係	給水車に関しては、これまで軽トラックの荷台にタンクだけ積むようなものででした。ただ、さすがにそれでは対応に限界がありますので、令和5年度に新しく車両一体型の給水車を購入させていただいたという経過があります。この給水車の容量は1,600リットルになり、我々も正直これだけでは全然足りないと考えています。令和6年1月に能登半島地震が発生し、我々も被災地支援に行ったのですが、他の自治体の給水車を見ると、非常に規模の大きいものもありました。小布施町の規模でどれくらいが適切かというのはありますが、ご指摘いただいたこと自体はその通りであると思っていますので、今後も引き続き検討はしていきたいと思います。ご意見ありがとうございます。
		建設水道課長	過去にも水が濁ったときがありましたが、そういった場合、近隣の長野市や須坂市から応援をいただき、対応させていただいたこともあります。今回はたまたま長野市でも事故があり、小布施町の方まで応援ができなかったという事情はありますが、一応近隣市町村へへのお願いはしている状況ですので、よろしくお願いします。
		町長	確かに給水車はあればあるに越したことはないですが、あの1,600リットルの給水車でも非常に高額です。常に使用するものでもないため、相当財源がないと給水車などを常に置いておくことは困難であると思います。災害が起きたときには広域連携で給水車があるところへ応援を要請し、対応していくことが現実的であると現時点では考えています。だからこそ、町としても相当な量のペットボトルの水を備蓄しているのですが、やはり2日間3日間の水、そういった各ご家庭で使えるような備蓄もぜひお願いしたいところです。